

庄司一也^{かずや}さんが名誉賞を受賞

みついし牛枝肉共励会

みついし農協主催の「第21回みついし枝肉共励会」の褒賞授与式が11月28日に同農協で開かれ、庄司一也さん（新冠町）が最高賞の名誉賞を受賞しました。

共励会は、みついし牛ブランドとして育てられる黒毛和牛の品質向上を目的として、毎年、東京

食肉市場の市場関係者により枝肉の厚さや脂の質・のり方などの審査が行われ、今年は新ひだか町や新冠町、浦河町などから選抜された36頭が出品されました。

庄司さんは「子牛の頃から大切に育ててきた。これからも高いレベルを目指したい」と話しました。



アレアレAFC U-15 初の全道優勝で2度目の全国へ

11月29日・30日に釧路市で開かれたJFA第31回全日本U-15フットサル選手権大会北海道代表決定戦でアレアレAFCが優勝し、2年連続の全国大会出場を決めました。

チームは、昨年の同大会準優勝を経験しているメンバーが中心となり、接戦を勝ち切ったの初優勝。全国大会は、1月10日から12日にかけて栃木県で開催される予定で、キャプテンの竹内貴都さんは「全道ではチーム一丸となって頑張れた。全国では予選を突破して優勝を目指したい」と話し、大野町長は「一体感を持ちながら頑張ってもらいたい」とエールを送りました。

寒さに負けず全力で楽しむ わんぱく教室運動会・もちつき

町教育委員会主催のわんぱく教室運動会・もちつきが12月13日に公民館で開かれ、小学生37人が参加しました。

運動会は、4チーム対抗でしっぽ取りゲームや障害物リレーなど4種目を実施。ボランテニアとして参加していた静内高校野球部の

生徒も加わり、全力で走り回って汗を流しました。

運動会でお腹を空かせた後は、もちつきやきな粉作りなどを体験。児童らは、高校生の力強い掛け声に合わせてついたもちを自分たちで丸め、お雑煮やきな粉もちにして笑顔で頬張りました。

タップして生涯学習課のInstagramをチェック▼



北海道社会貢献賞（統計功労）

桑嶋 ^{みねお} 峰雄 ^{さん} (74)



昭和56年2月から令和6年12月にかけて、国勢調査をはじめ、農業基本調査など多数の統計調査に熱意と責任感をもって従事され、正確かつ迅速な調査に尽力するとともに、地域の方への誠実な対応により信頼関係を構築し、統計業務の円滑な実施に貢献されました。

桑嶋さんは「このような賞をいただき、とてもありがたい気持ちです。家族や協力いただいたみなさまのおかげで長く続けることができ感謝しています」と述べました。

北海道社会貢献賞（社会事業関係功労）

下司 ^{まさみ} 政美 ^{さん} (64)



平成13年2月に社会福祉法人延出福祉会の理事に就任して以来、監事などの役職を歴任し、24年の長きにわたり法人の運営に関わり安定的な経営に向け建設的な意見を述べ、事業運営を支えられました。

下司さんは「大変光栄な賞をいただき、感謝しています。地域子どもたちのために非力ですが取り組んできました。これからも地域一丸となって頑張っていきたいです」と述べました。

日高振興局長表彰（社会福祉関係）

石岡 ^{てるお} 輝男 ^{さん} (77) ※写真左 / 泊 ^{のりこ} 範子 ^{さん} (67) ※写真右



11月14日に北海道日高振興局長表彰の伝達式が静内庁舎で行われ、石岡輝男さん、泊範子さんの2人が、長年にわたり民生委員児童委員として地域福祉の向上に貢献した社会福祉事業功労者として表彰されました。

伝達式では、日高振興局の河端くらし・子育て担当部長から2人へ表彰状が手渡されました。

河端部長は「高齢化が進む中で、長い間地域のために貢献していただいて感謝しています」と話しました。

タップしてInstagramをチェック▼



12月13日に総合町民センターで「としよかんフェスティバル」が開かれ、7組20人の親子が参加しました。子どもたちは、リズムミカルな掛け声とともに物語が進む『クリスマスボス』や大型絵本『ねずみくんのチョコッキ』の読み聞かせ、ライオンくんがお使いに

出かけるパネルシアターを鑑賞。その後の工作では、クリスマスカラーのモールを星やハートなど思い思いの形にし、カラフルなスパンコールやビーズなどで飾り付け、世界に一つの「きらきらオーナメント」を作り、ひと足早いクリスマスを楽しみました。

絵本と工作で
ひと足早いクリスマス

秋の叙勲 - 瑞宝双光章（消防功労） -

元 日高中部消防組合静内消防団長



阿部 ^{ゆきお} 幸男 ^{さん} (74)

昭和50年10月に静内消防団に入団し、分団長や団長などを歴任され、退団するまでの47年余りの長きにわたり、豊富な知識と経験をもって、団員の指導育成および消防技術の向上に尽力され、災害発生時には的確な判断力と優れた洞察力で被害を最小限にとどめました。

阿部さんは「叙勲を賜ったことは大変光栄に思います。今後も団員が活動を続けられるように応援しながら、健康で社会に尽くしていきたいです」と述べました。

危険業務従事者叙勲 - 瑞宝双光章（警察功労） -

元 北海道警部



藤柳 ^{よしと} 芳人 ^{さん} (74)

昭和45年4月に北海道警察に採用されて以来、静内警察署や美深警察署勤務などを経て平成20年に豊平警察署に配属。警部として平成23年に退職するまでの長きにわたり、交通捜査や交通指導などの業務に従事されました。

藤柳さんは、「交通捜査に携わることが多く、加害者・被害者両方の気持ちに寄り添うことを心がけていました。同僚や上司の支えはもちろん、夜中の呼び出しや泊りがけでの勤務が多い中でも、家族がいたからこそ仕事に打ち込むことができ、感謝しています」と述べました。